

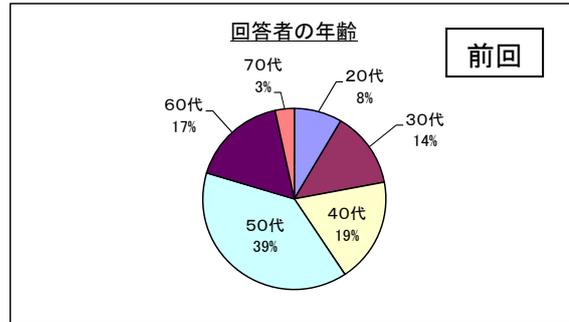
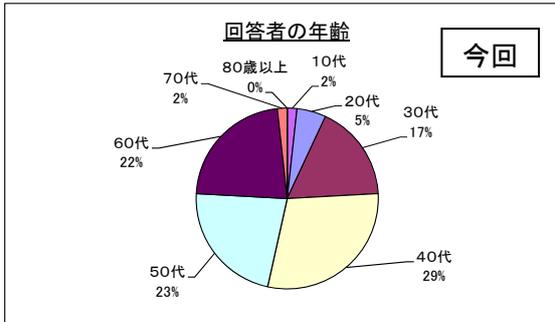
EST普及推進フォーラム アンケート集計結果

(今回総数 58 件)

(前回総数 60 件)

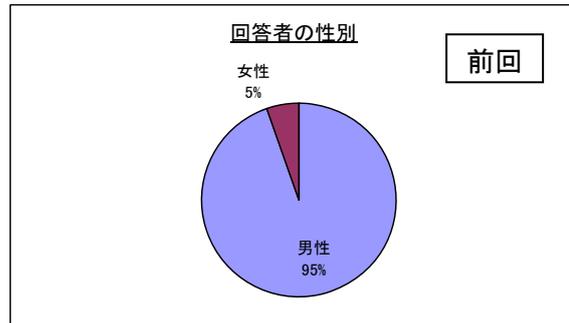
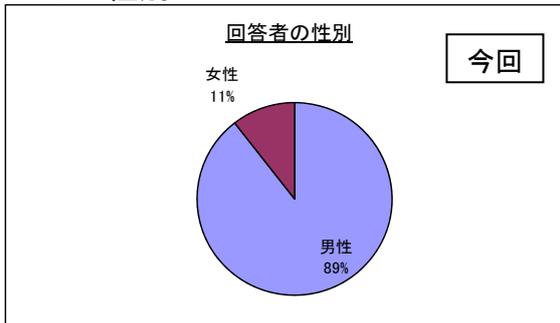
I あなたご自身についてお聞きします。

Q 1 年齢



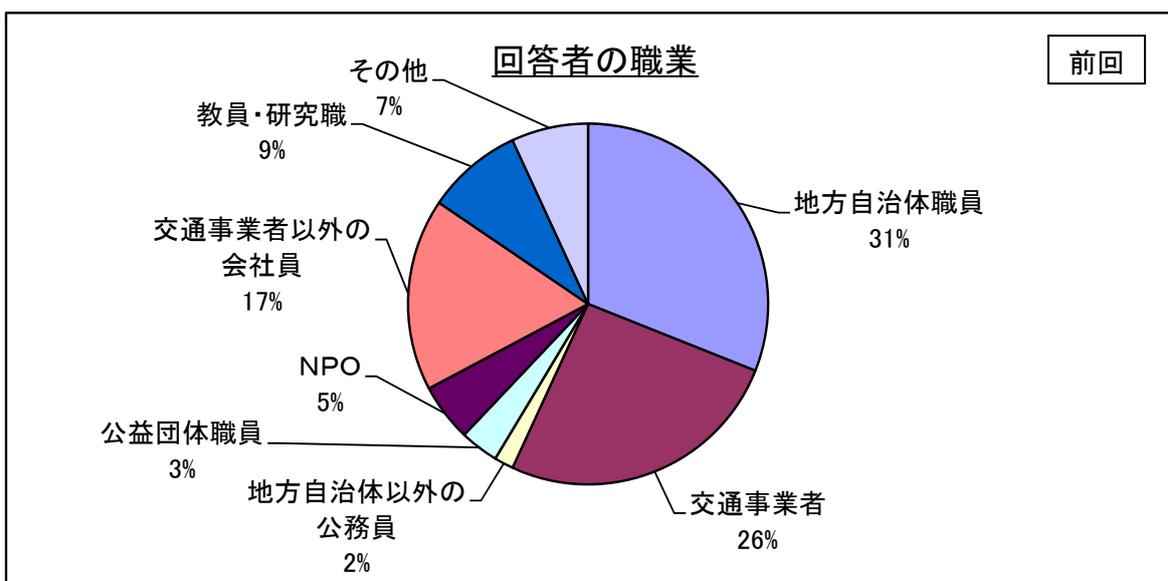
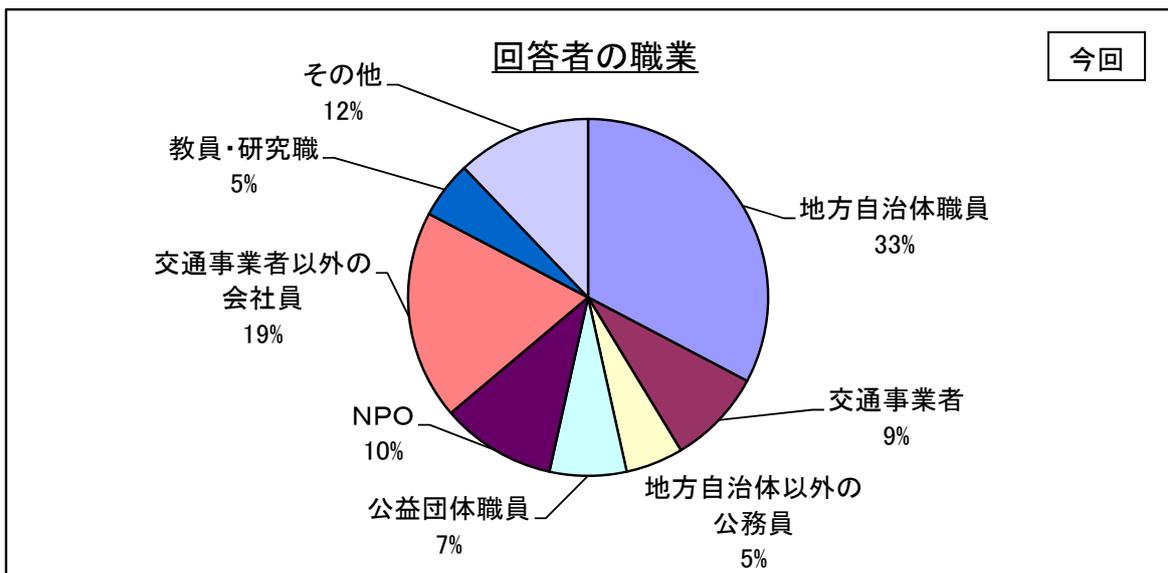
・前回と比べて50代が減少し40代が増加しているが、各世代からの参加があった。

Q 2 性別



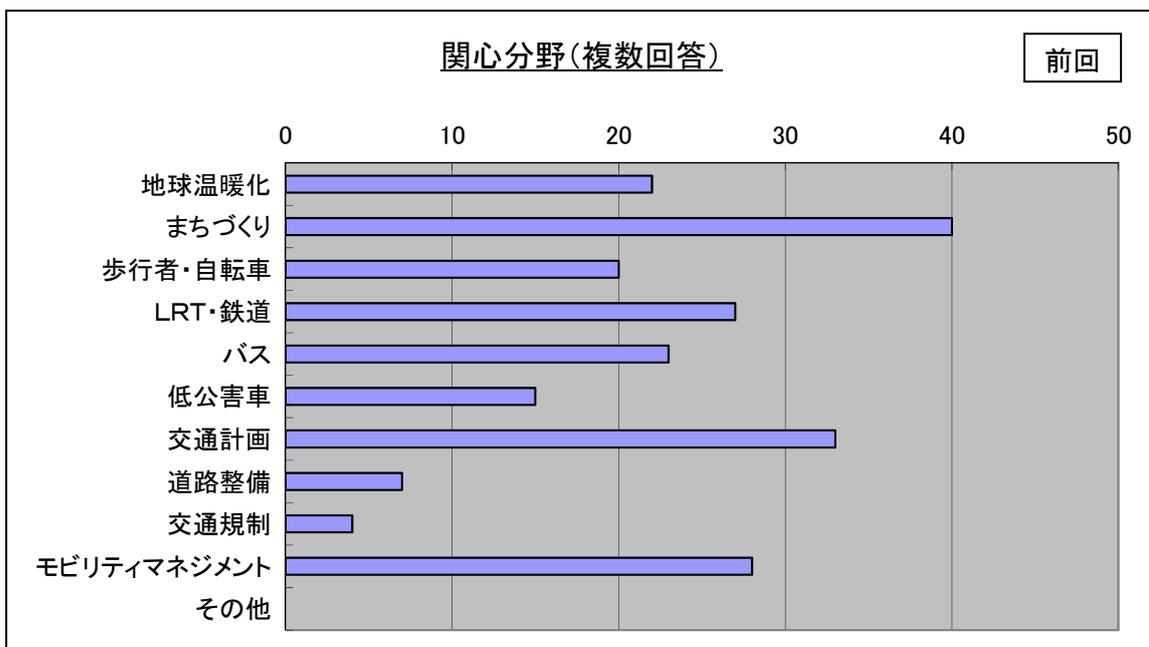
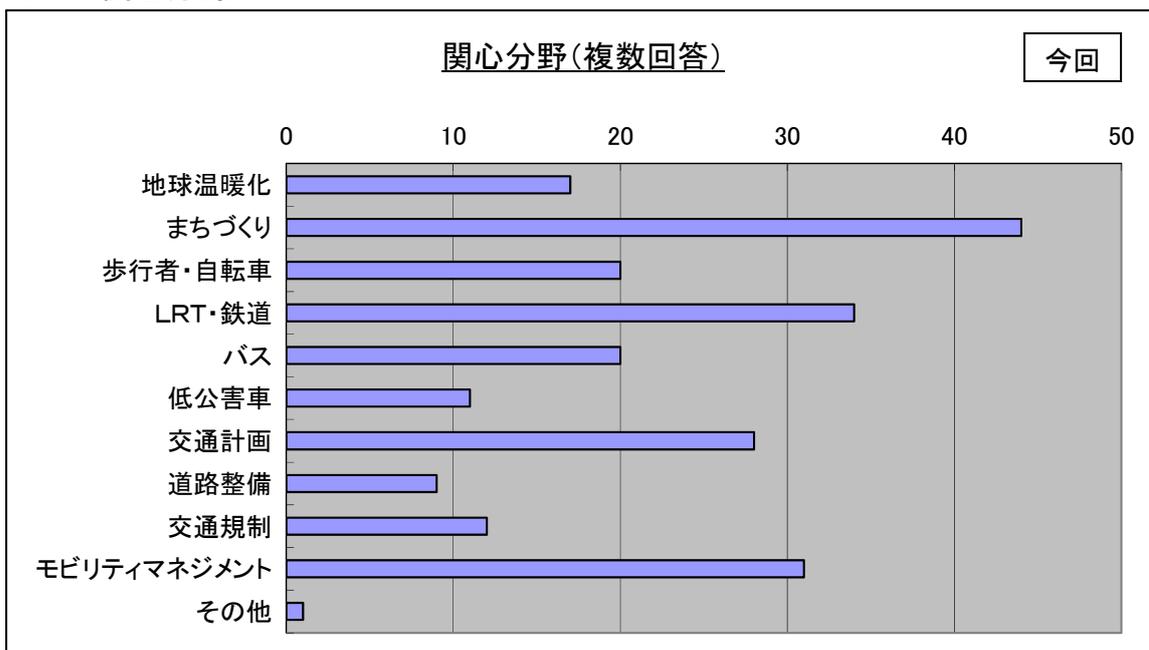
・前回と同様、男性の参加者が多くなっている。

Q 3 職業



- ・ 主な参加者は、地方自治体職員、交通事業者以外の会社員であり、前回と比較して、NPOの割合が増えた。

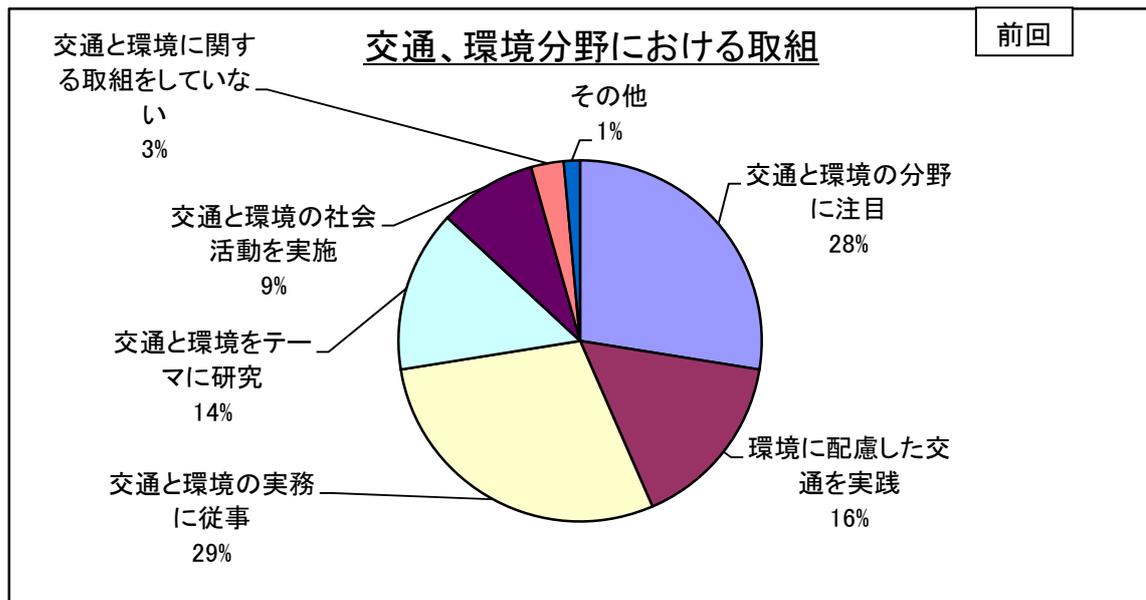
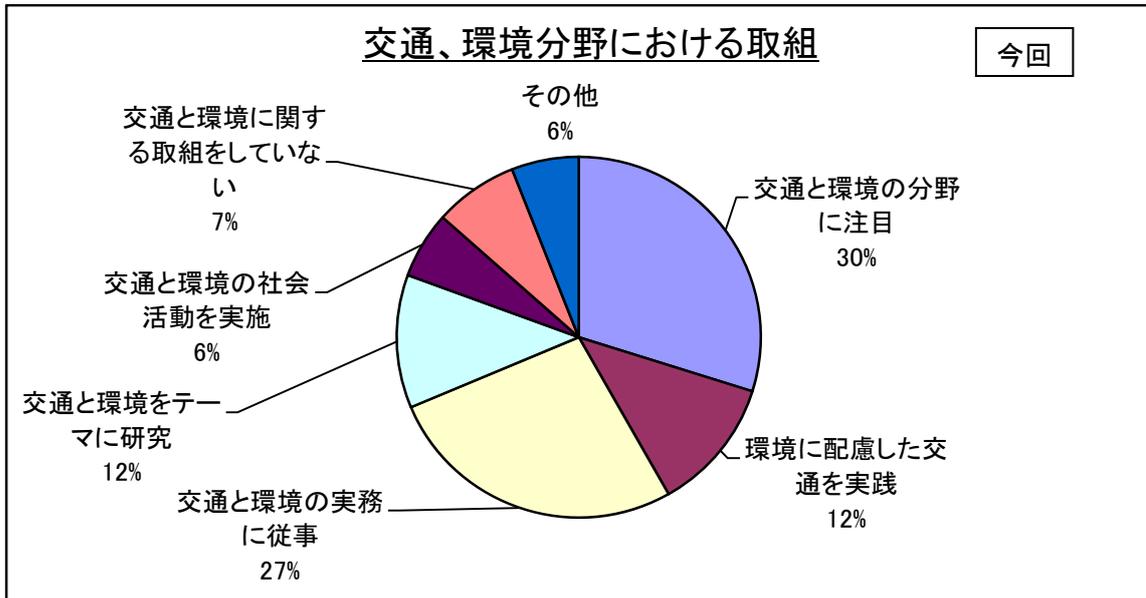
Q 4 関心分野



- ・前回と同様、まちづくりに興味があると回答した参加者が多く、前回と比較して、LRT・鉄道に興味があると回答した参加者が増えた。

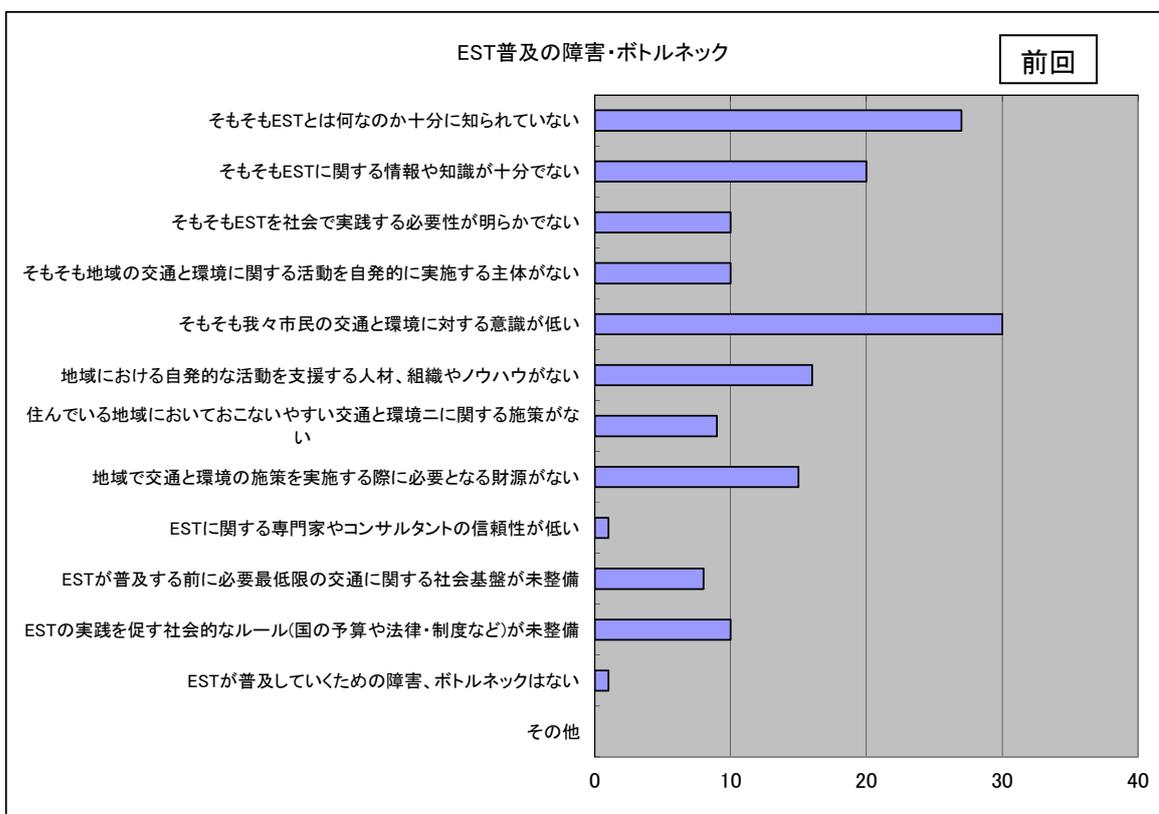
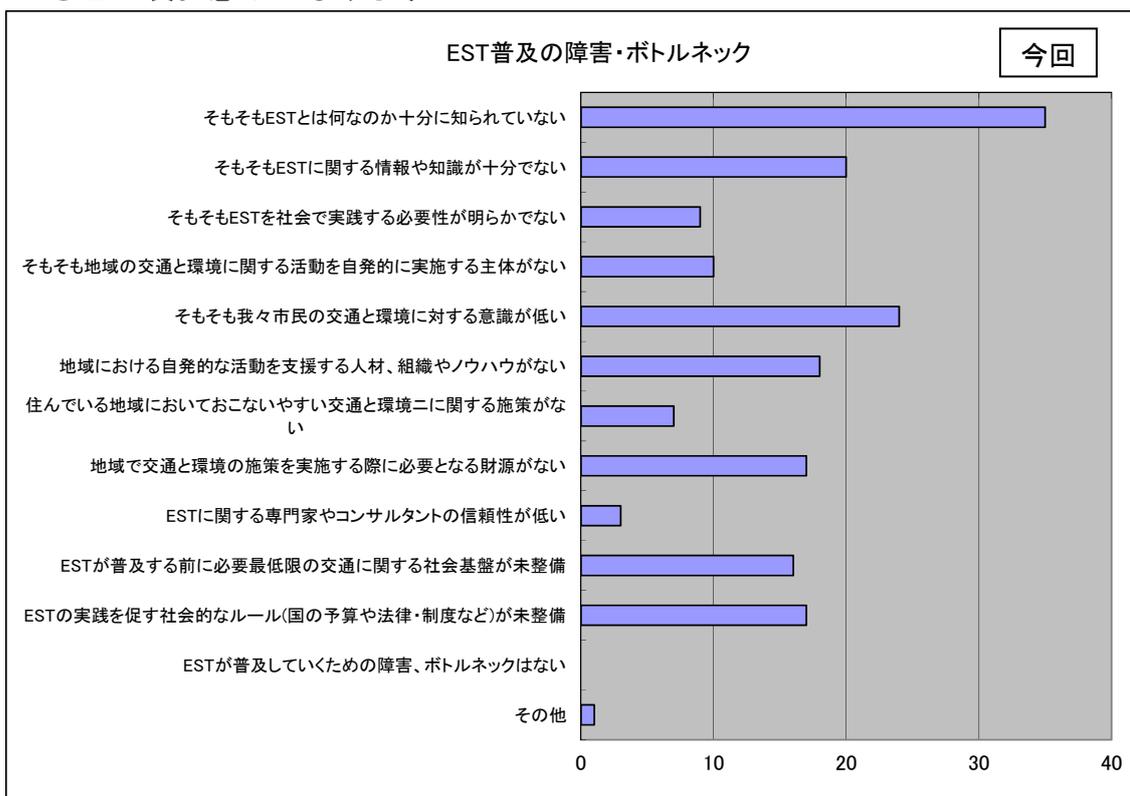
II 本日のシンポジウムのテーマであるESTの普及推進についてお聞きします。

Q1 現在、あなたは交通と環境の分野において、どのような取組みをしていますか？



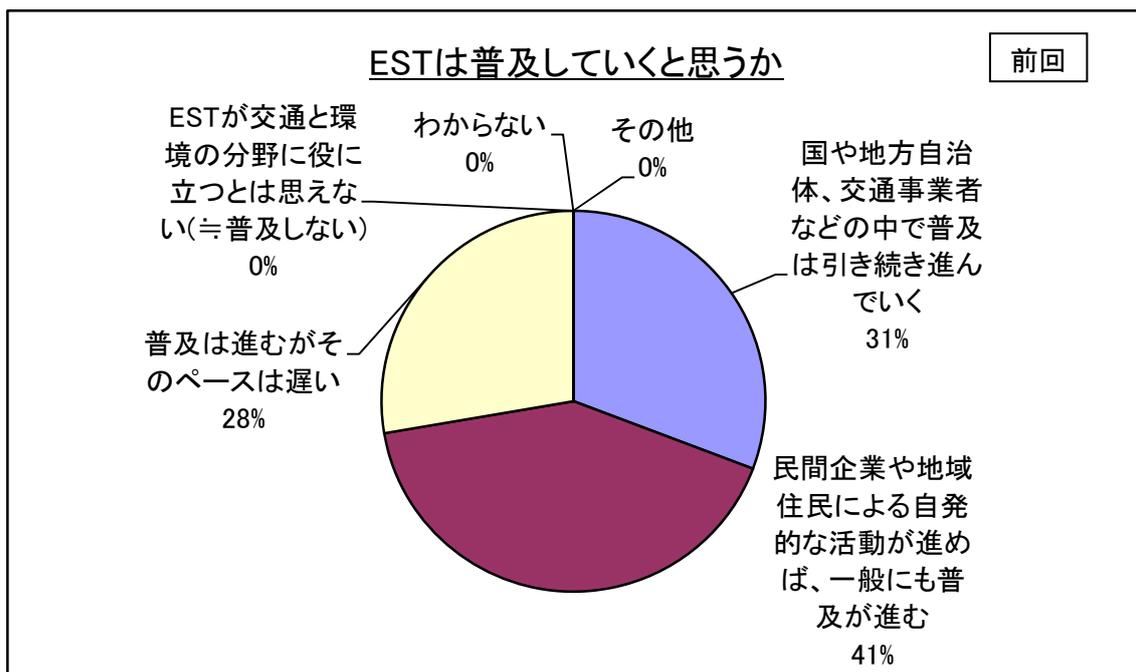
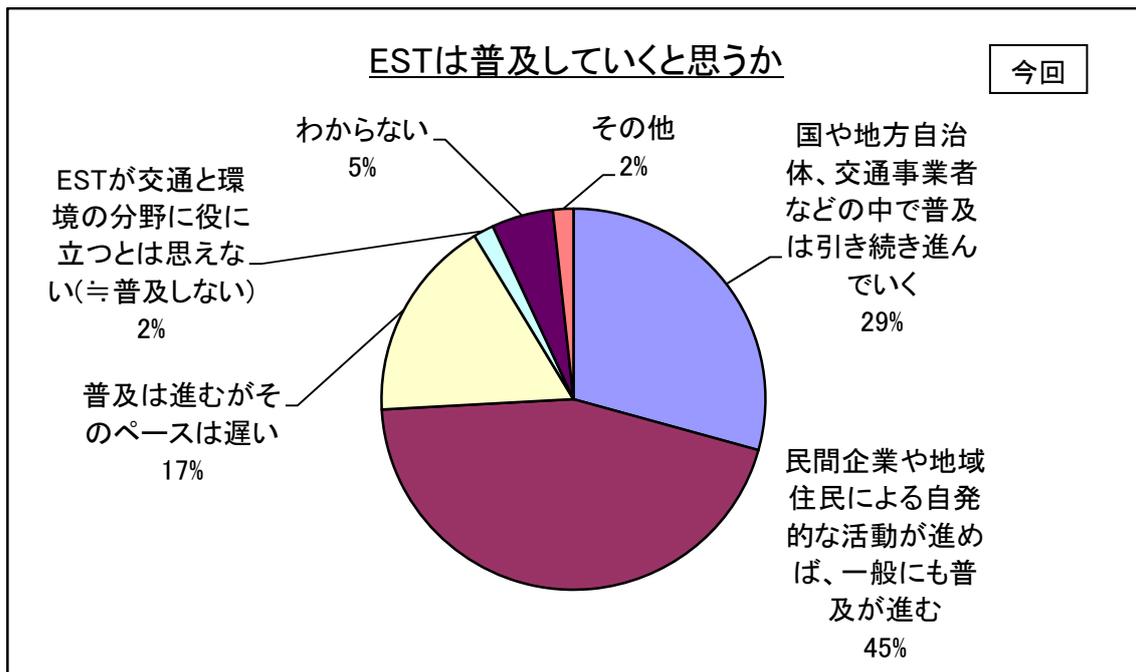
・前回と同様、現在参加者が取組んでいる活動は、交通と環境の分野に注目、交通と環境の実務に従事と回答した参加者が多かった。

Q2 現在、ESTが普及していくためには、何が障害、ボトルネックになっていると日頃お感じになりますか？



・ EST普及の障害、ボトルネックについて、前回と同様、そもそもESTとは何なのか知られていない、そもそも我々市民の交通と環境に対する意識が低いと回答する参加者が多かった。

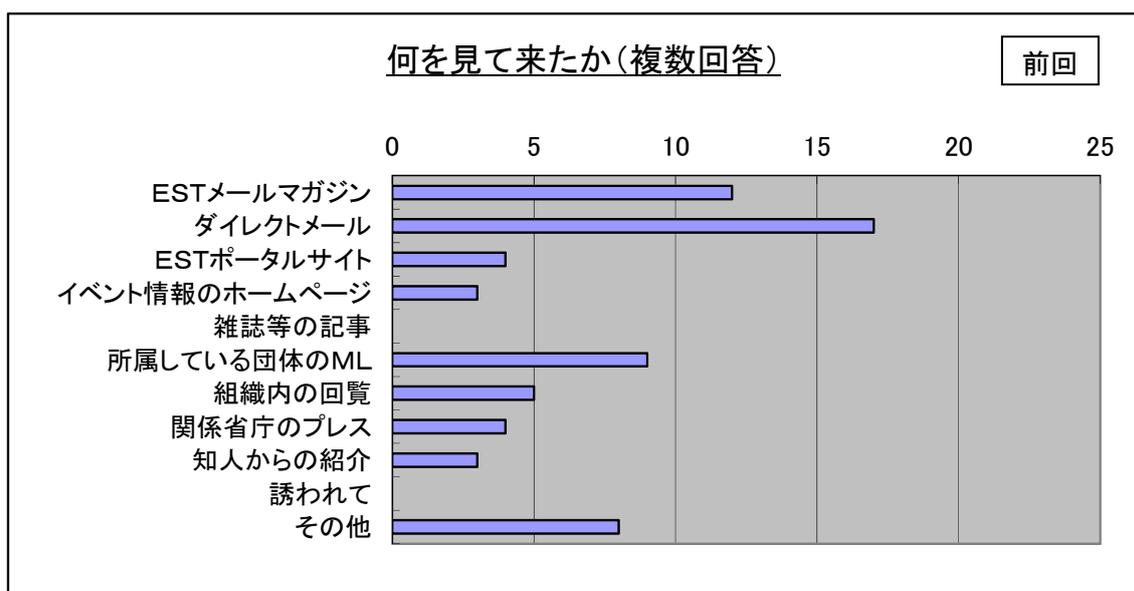
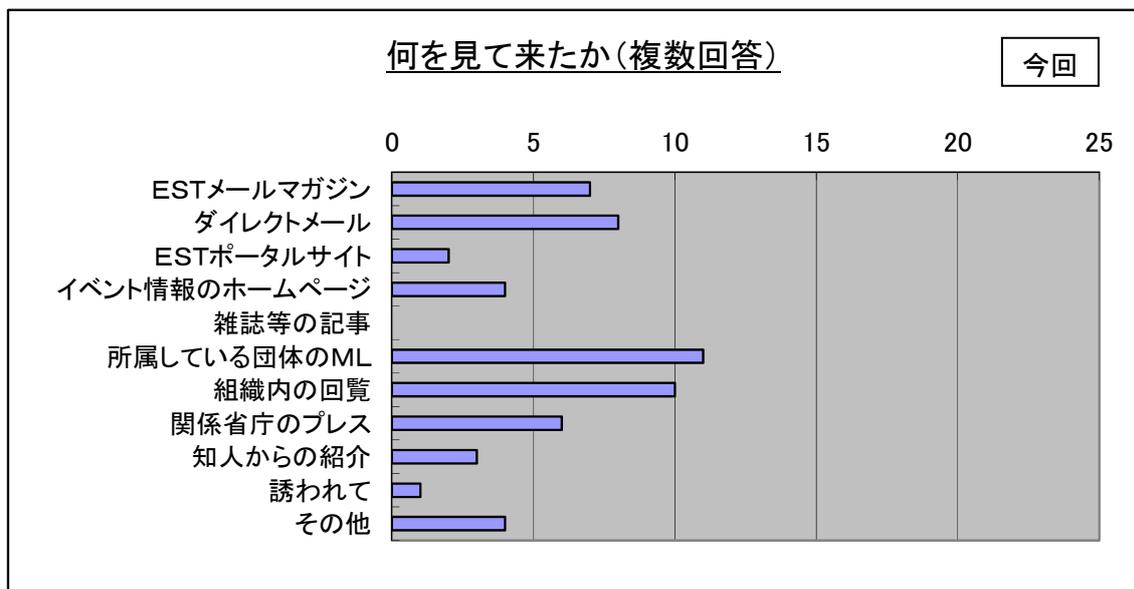
Q 3 今後、ESTは普及していくと思いますか？



・ ESTの普及に関して、前回と同様、民間企業や地域住民による自発的な活動が進めば、一般にも普及が進むと考えている参加者が最も多く、次いで、国や地方自治体、交通事業者などの中で普及は引き続き進んでいく、普及は進むがそのペースが遅いと考えている参加者が多かった。

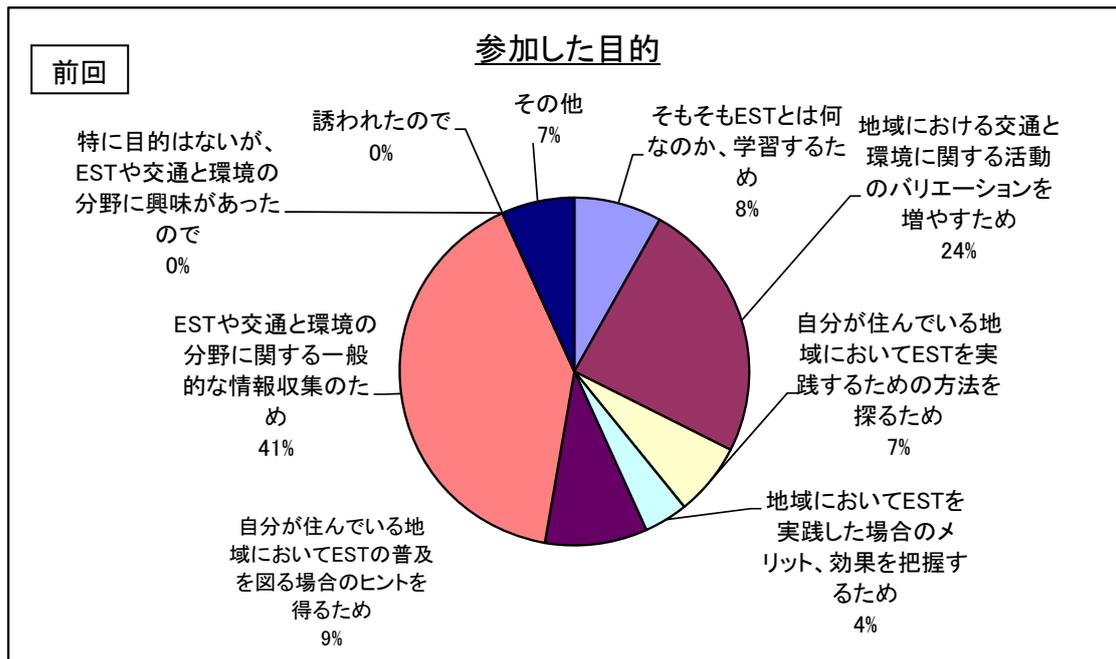
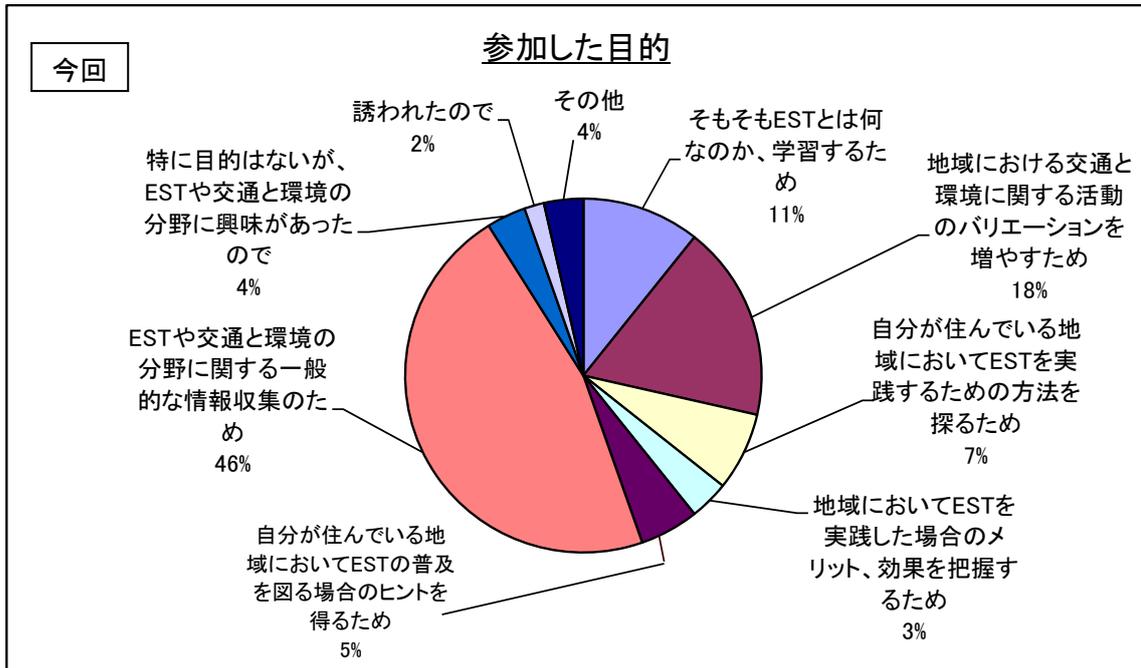
Ⅲ 本日のシンポジウムについてお聞きします。

Q 1 何を見て来られましたか？



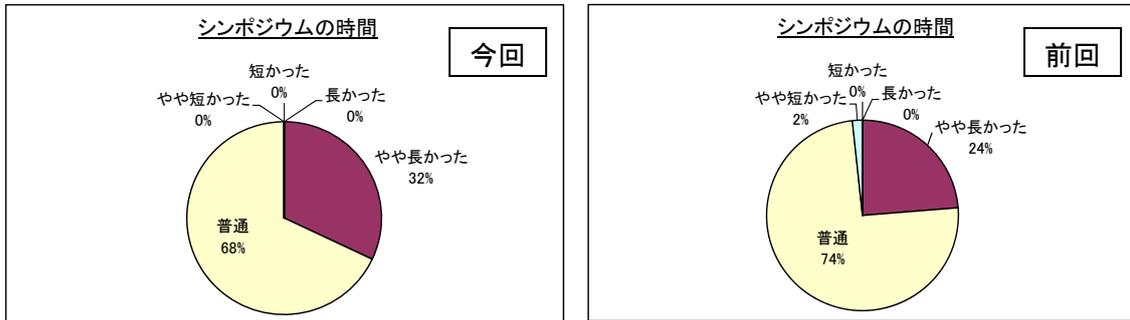
- ・ 所属している団体の ML を見て参加した参加者が最も多く、次いで、組織内の回覧と回答した参加者が多かった。

Q 2 今日のシンポジウムに参加した一番の目的は何でしたか？



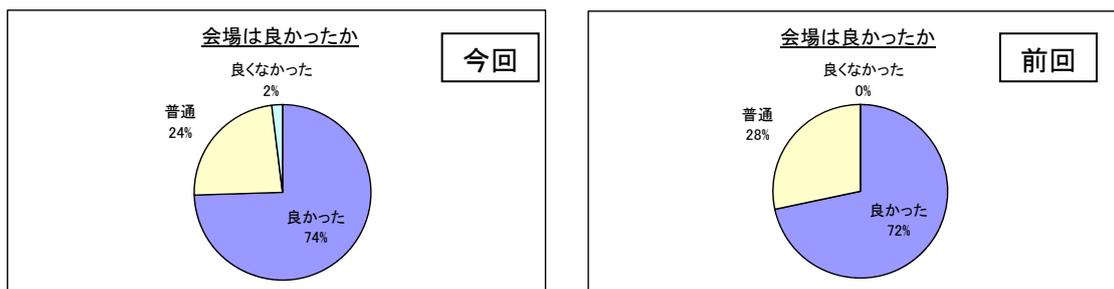
- ・前回と同様、EST や交通と環境の分野に関する一般的な情報収集のために参加する参加者が最も多く、次いで地域における交通と環境に関する活動のバリエーションを増やすために参加する参加者が多かった。

Q 3 今日のシンポジウムの時間の長さはいかがでしたか？



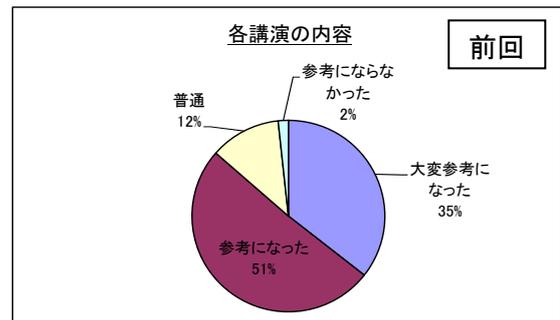
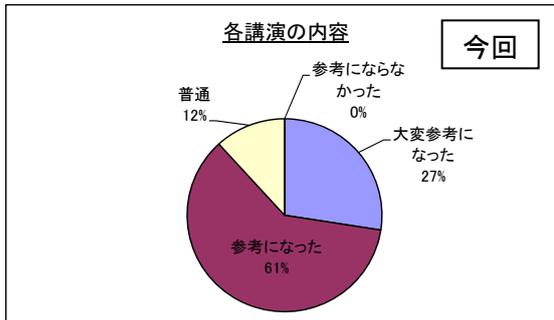
・前回と同様、シンポジウムの時間は概ね普通で、やや長かったと感じる参加者もいた。

Q 4 会場はいかがでしたか？



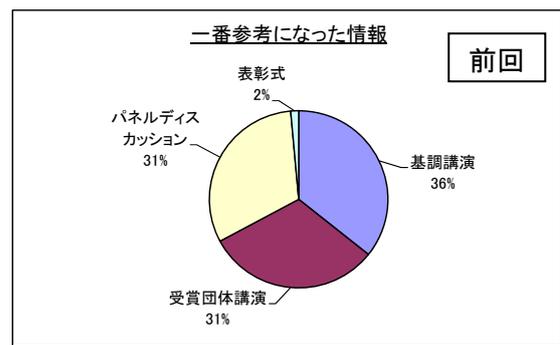
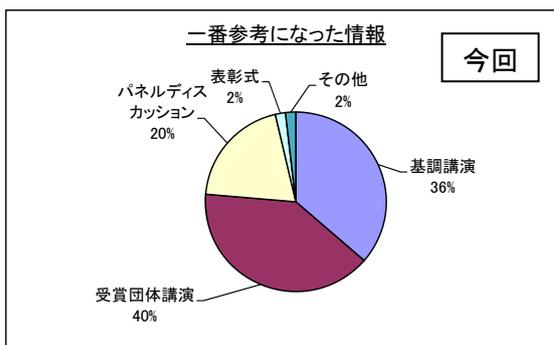
・会場は良かったと回答する参加者が多く、次いで普通と回答する参加者が多かった。

Q 5 各講演内容はいかがでしたか？



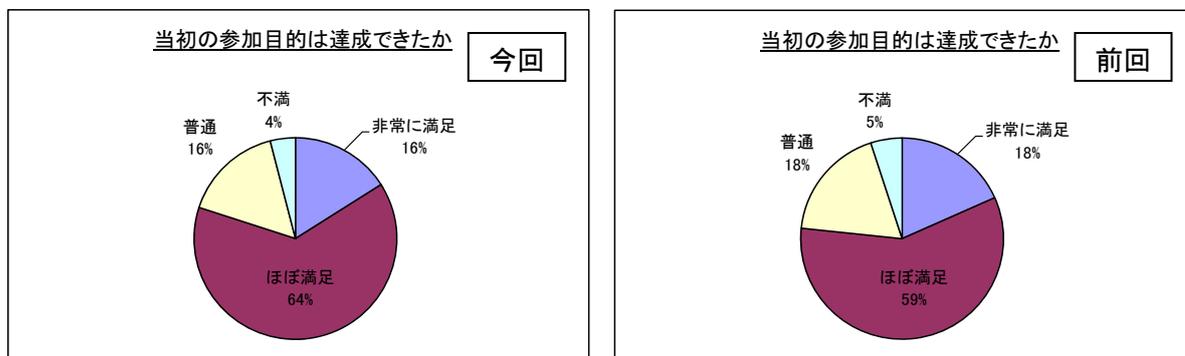
・前回と同様、参考になった、大変参考になったと回答した参加者が8割以上を占めた。

Q 6 一番参考になった情報は何ですか？



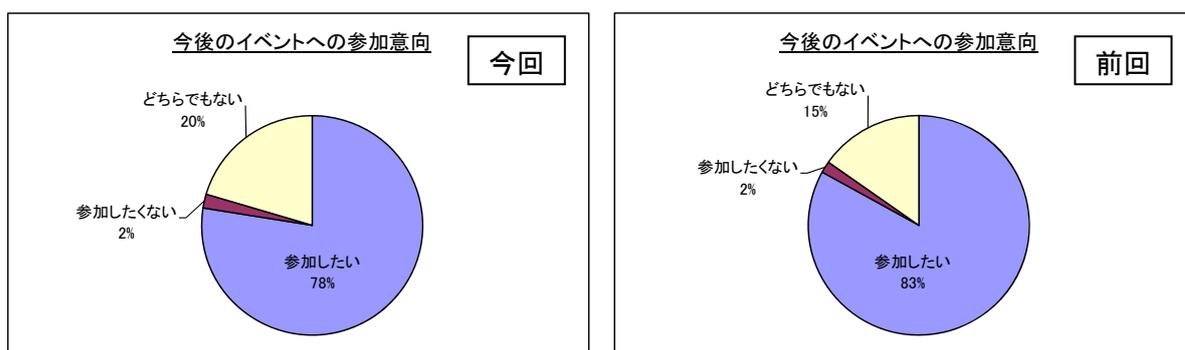
・受賞団体講演が参考になったと回答する参加者が最も多く、次いで基調講演、パネルディスカッションが参考になったと回答する参加者が多かった。

Q 7 総合的に、今日のシンポジウムに対する当初の参加目的は達成できましたか？



・前回と同様、非常に満足、ほぼ満足と回答した参加者が多かった。

Q 8 今後のEST関連の各種イベントへの参加意向についてはいかがですか？



・前回と同様、EST関連の各種イベントに参加したいと回答した参加者が多かった。

以上

Q 9 主な自由意見（今後取り上げて欲しい交通と環境に関するテーマ、日ごろお感じになっている EST に関する課題など、ご意見がございましたらご自由にお書き下さい。）

- ・ 基調講演の内容（クロスセクター効果）をもう少し詳しく聞きたかった。
- ・ 土井先生の講演にあったクロスセクター効果の定量評価は、行政等の取り組みを進めるためにとっても重要になると思う。これを簡易に評価できるようになると良いと思う。
- ・ クロスセクターの考え方でビジネスモデルを構築しないとサステナブルになりづらいといった点をテーマにしてほしい。
- ・ 公共交通への転換、トリップの増加に向けたクロスセクターは実施したい。具体的な取り組みが大変参考になった。また、ディーラースタッフにエコドライブの伝え手になってもらうことは、すばらしい発想だと思った。
- ・ EST が普及していくための活動として、今回のようなフォーラムを開催することを、各行政の方や有識者の方だけでなく、交通や環境に関わっている学生にも呼びかければ、より多く、また新しい意見なども発信できると思う。
- ・ 都市部の公共交通がある程度、発達している地域での、渋滞解消対策。コミバスも通せないような道路条件での新たな移動サービス施策事例。ノーマイカーデーなど地域への EST 普及を図る施策事例など。
- ・ 環境啓発、こども向け啓発の取り組みや有効な事例を知りたい。
- ・ 東京オリンピックに向けて、大都市における EST について、場合によっては物流も含めて、そのあり方やアイデア等の講演を聞いてみたい。
- ・ マイクにずっと電子音が入っていて不快であった。
- ・ 超小型モビリティ（2人乗り）の市販化推進
- ・ 安全 ・ 減災 ・ 環境
- ・ 自転車

以上